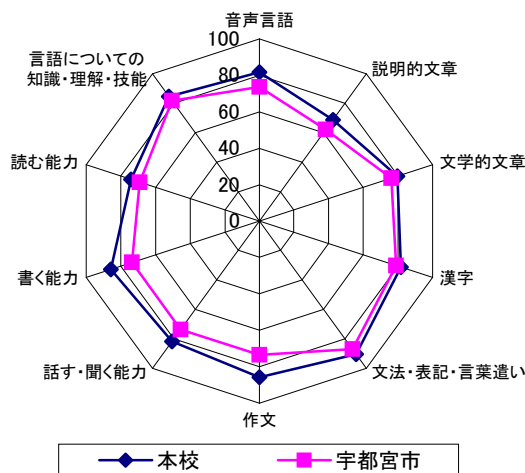


# 宇都宮市立豊郷中学校第2学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	81.8	73.7
	説明的文章	68.7	62.1
	文学的文章	79.7	76.1
	漢字	81.7	79.0
	文法・表記・言葉遣い	90.4	87.0
	作文	85.7	73.5
観点別	話す・聞く能力	81.8	73.7
	書く能力	85.7	73.5
	読む能力	74.2	69.1
	言語についての知識・理解・技能	84.6	81.6



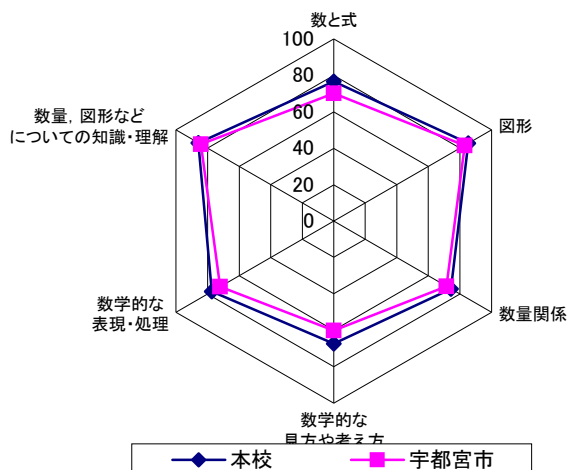
## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (81.8%)	市の平均と比較すると8.1ポイント高い結果となった。グループによる話し合いの活動が効果をあげているものと思われる。授業の中で生徒全員の前での発表には消極的だが、小集団では意見を述べる事ができる生徒も多い。	スピーチやディベートをもっと学習活動の中に取り入れ、音声言語を磨く場面を多く設定していきたいと考えている。話すことや聞くことは日常生活においても大切なコミュニケーション能力であるので、日ごろから意識を持って取り組ませたい。
説明的文章 (68.7%)	市の平均と比較すると6.6ポイント高い結果となった。文学的文章よりも読みなれていないため、説明的文章にやや苦手意識をもつ生徒もいる現状である。	論理的文章の読解の指導では、基本的な組み立ては序論・本論・結論にあることや、筆者の結論に至るまでの論述の過程を丁寧に読み取ることを重点としたい。さまざまな文章に触れさせることによって、説明文の読解のポイントを理解させたい。
文学的文章 (79.7%)	市の平均と比較すると3.6ポイント高い結果となった。本校生徒の豊富な読書量がうかがえる結果となった。	詩や俳句などの教材においては短い言葉に込められた、作者の意図の読み取りや情景を想像させることを重点に指導していきたい。小説や物語教材においては、登場人物の心情や場面の情景をさまざまな表現から細かく読み取っていくことに重点をおいて指導していきたい。
漢字 (81.7%)	市の平均と比較すると2.7ポイント高い結果となった。	漢字の小テストの回数を増やすことで、漢字の学習を継続させていきたい。新出漢字とともに、既習の漢字の読み書きについても定着させていきたい。
文法・表記・言葉遣い (90.4%)	市の平均と比較すると3.4ポイント高い結果となった。	文法に関しては苦手意識をもつ生徒も多いので、機械的に覚えるものではなく、日常使っている日本語の決まりを整理したものが文法だという意識をもって、生徒の言語生活につながる学習活動を心がけたい。
作文 (85.7%)	市の平均と比較すると12.2ポイント高い結果となった。書くことに対して、やや消極的な生徒も見られるが、学習後の感想を毎回各活動が効果をあげていると考えられる。	理解教材のまとめとして、文学的文章の感想や説明的文章の要旨などを文章にまとめる学習を増やし、自分の意見・考えを書き表す機会を増やしていきたい。

# 宇都宮市立豊郷中学校第2学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	76.7	70.1
	図形	85.2	82.9
	数量関係	74.4	71.4
観点別	数学的な見方や考え方	67.3	60.1
	数学的な表現・処理	77.3	72.0
	数量, 図形などについての知識・理解	85.7	84.2



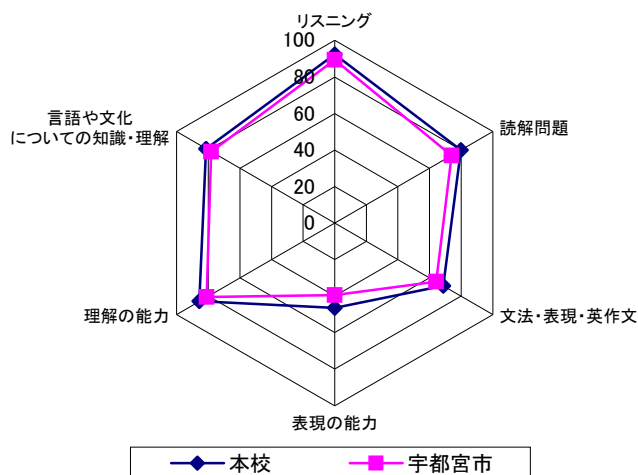
## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (76.7%)	市の平均と比べると、6.6ポイント高い結果となっている。計算方法を理解し正確に解くことができている生徒が多い。	計算については継続的に反復練習をさせることで、正確に解ける力をつけさせたい。また、計算を苦手としている生徒には個別指導の場を設けて対応していきたい。
図形 (85.2%)	市の平均と比べると、2.3ポイント高い結果となっている。図形の性質や角度の求め方について理解している。	図形の色々な角度から見たり、補助線の入れ方を工夫したりすることで、考え方の幅を広げられるよう指導していきたい。また、様々な問題を提示し、図形の楽しさにも触れさせていきたい。
数量関係 (74.4%)	市の平均と比べると、1.5ポイント高い結果となっている。しかし、1次関数については苦手意識をもっている生徒がかなり多い。	1年生で学ぶ比例・反比例との関係をおさえながら、3年生の学習内容である $y=ax^2$ につなげられるよう、復習に力を入れたい。まず、式、表、グラフの理解を深めさせたい。

# 宇都宮市立豊郷中学校第2学年【英語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	92.3	89.3
	読解問題	79.6	73.9
	文法・表現・英作文	68.6	64.0
観点別	表現の能力	46.5	39.3
	理解の能力	85.4	80.9
	言語や文化についての知識・理解	81.2	78.1



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (92.3%)	この領域の平均正答率は、昨年度の本校の正答率を上回る結果であった。市の平均と比べても3.0ポイント高い結果となっている。英語活動やALTなどとの対話練習から、聞く力が身についていると考えられる。	クラスルームイングリッシュやALTとの対話活動も可能な限り取り入れる。ウオームアップでは学習したことを反復練習できるような対話活動を行い、学習内容の定着を図りたい。また、ラジオ講座等を利用し、授業以外で英語を「聞く」機会の推奨を図る。
読解問題 (79.6%)	この領域の平均正答率は、昨年度の本校の正答率を上回る結果であった。市の平均と比べても、5.7ポイント高い結果となっている。文章を読んで理解する力が身についている。	予習を推奨し、単語の意味をしっかりとつかんでから教科書の内容を読み取らせる。また、ウオームアップの対話活動で学習内容を反復練習することと、定期的に単語テストと行うことで、語彙の定着を図っていききたい。
文法・表現・英作文 (68.6%)	この領域の平均正答率は、昨年度の本校の正答率を上回る結果であった。市の平均と比べても、4.6ポイント高い結果となっている。しかし英作文については、英文法やスペルに対する苦手意識が強いのはもちろん、表現したいことをまず日本語でまとめること自体に苦手意識を持っている生徒も多い。	並べ替え問題での反復練習で文法に対する苦手意識を取り除いていききたい。ウオームアップの対話活動で音声表現での定着を図りつつそれをかけるレベルにするために、定期的にディクテーションや文章題の書き取りテストを行い、語彙の定着を図っていききたい。